

後天性非腫瘍性消化管気道瘻の発生数や治療法に関する全国 実態調査

1. 研究の対象

2015 年 1 月 1 日から 2019 年 12 月 31 日までに、後天性の（生まれつきでない）非腫瘍性（癌などによらない）消化管と気管や気管支との瘻孔と診断された患者さん。

2. 研究目的・方法

消化管気道瘻は消化管と気道（気管、気管支）に交通がある状態で、成因は大きく先天性（生まれつき）と後天性（生まれつきでない）に分類されます。このうち、後天性の消化管気道瘻には、食道気道瘻の他、食道切除再建術後に生じる胃管気道瘻などが含まれます。後天性食道気道瘻の多くが食道癌などの腫瘍が原因であるのに対し、非腫瘍性（癌などによらない）食道気道瘻の病態は多岐にわたります。消化管気道瘻は生命予後にかかわるため、病態に応じた適切な治療が施される必要がありますが、後天性非腫瘍性消化管気道瘻は発生原因や発生数および治療法に関する全国規模の報告がなく、詳細は不明です。本研究では後天性非腫瘍性消化管気道瘻に対するアンケート を用いた全国調査を行うことによって、その成因、発生数および治療法の実態を明らかにします。調査結果の公表によって、後天性非腫瘍性消化管気道瘻の成因、病態等に応じた一定の治療指針を示すことが期待され、比較的希少であるが治療に難渋する本疾患の克服に役立つと考えられます。

研究実施期間：研究機関の長による実施許可日から 2025 年 3 月 31 日まで

試料・情報の利用及び提供開始予定日：2024 年 10 月 2 日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：年齢、性別、原因となる疾患および治療歴、症状、発症時期、病悩期間、治療内容、治療期間、合併症の有無、転帰等

4. 外部への試料・情報の提供

試料・情報は個人が特定できないよう氏名等を削除し、電子的配信により研究代表機関である浜松医科大学へ提供します。

対照表は、当院の研究責任者が保管・管理します。

5. 研究組織

浜松医科大学	外科学第二講座	竹内裕也
九州がんセンター	消化管外科	藤也寸志
群馬大学大学院	総合外科学講座	佐伯浩司
慶應義塾大学	一般・消化器外科	北川雄光
大阪大学	消化器外科	土岐祐一郎
東海大学	外科学系消化器外科学講座	小柳和夫
神戸大学大学院医学研究科	外科学講座	掛地吉弘
千葉大学大学院医学研究院	先端応用外科	松原久裕

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、
研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒010-8543 秋田県秋田市本道 1-1-1
秋田大学医学部胸部外科学講座
佐藤雄亮
TEL:018-884-6132
E-mail:yusuke@doc.med.akita-u.ac.jp

研究責任者： 秋田大学 胸部外科学講座 佐藤雄亮

研究代表者： 浜松医科大学 外科学第二講座 竹内裕也

試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称：

国立大学法人秋田大学大学院医学系研究科
研究科長 羽瀨 友則